

# カシオタイの現地に根ざしたグローバル経営

カシオグループのグローバル経営は、拠点ごとの文化や環境に合わせた経営を基本としています。現地従業員が9割を占めるカシオタイでは、現地人材を重視した人材施策の他、社外の地域コミュニティとの信頼関係を深め、貢献していくための活動も幅広く行っています。

## カシオタイの人材施策と地域共生

カシオタイでは、現地に根ざした経営を目指し、「人材育成と福利厚生」および「地域社会との共生」を特に重視しています。その実現のために、人材活用指針やCSR活動方針を制定し、それに基づいたさまざまな活動に取り組んでいます。

### ● 人材の育成と福利厚生

カシオタイでは、人材活用指針に基づき、福利厚生の充実とキャリア開発を実施しています。女性従業員が9割を占めるため、育児支援制度の整備の他、社内への授乳支援室設置など仕事と家庭を両立できる職場づくりを推進しています。

また、人材育成においても、役割や習熟度別のトレーニングプログラムによって従業員の成長をサポートしています。

### ● 地域社会との共生

カシオタイでは「地域コミュニティにおける生活のクオリティ向上に重要性を置き、地域住民の自立および経済的、社会

的發展に貢献すること」というCSR活動方針のもと、ガイドラインを設定し、取り組みを推進しています。

こうした経営方針に基づく活動や実績が評価され、タイの厚生労働省より「労使関係・福利厚生における優良企業賞」を受賞しています。今回で5年連続の快挙となりました。

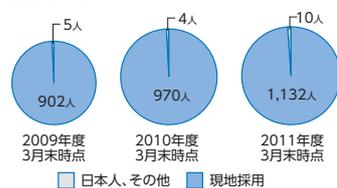
同賞は、1) 人事施策と労働組合施策の成文化、2) 賃金・給付金制度、3) ホットラインの設置、4) 福利厚生、5) CSR活動の5つの項目からなる評価基準を設けており、いずれも高いレベルでクリアしていることが評価されたものです。



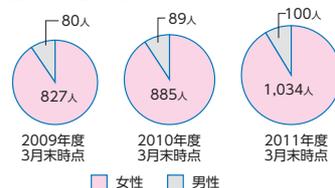
CSR推進担当  
ワナ パクヤウ

カシオタイ企業データ

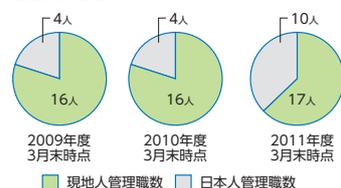
■ 国籍別従業員数



■ 男女別従業員数



■ 国籍別管理職数



## 1 人材の育成と福利厚生

タイは女性の社会進出が進んでいるため、育児支援に特に力を入れています。また、従業員が会社とともに成長し、キャリアを築いていくための研修やセミナーなどさまざまなプログラムを実施しています。

### 福利厚生

#### 母乳育児支援設備を新設

カシオタイの従業員は、約9割が女性で、毎月3~5人が出産をしています。タイの法律に従って出産3カ月後に復職しますが、勤務中に母乳がとれないため、自宅の乳児に十分に与えることができませんでした。

そこで、出産した女性社員のために、母乳を搾って保存するためのコーナーを社内に設置しました。衛生的に保存できる冷蔵スペースや保存用パッケージを提供するほか、空調と空気清浄機を完備し、母乳を保存する時に、ウイルスやバクテリアが入らないよう、きれいな空気が



授乳支援室

保たれるようになっていきます。

また、専門のインストラクターも配置して、出産前後の女性従業員に、授乳方法や衛生的な母乳の保存方法を指導しています。妊娠中の健康や栄養管理などを教える講座もあわせて開催し、より多くの従業員の仕事と家庭の両立をサポートしていきたいと思っています。



人事部門  
ドゥンダ バトゥチャイ

### 利用者の声

休憩や、持ち帰るための母乳を搾るのに活用しています。とても衛生的な部屋なので、持ち帰った母乳を安心して子供に与えられます。張りによる乳房の痛みも軽くなるので、とても快適です。会社が従業員と家族の健康をケアしてくれていると感じます。



ナティッタ ロンクルアップ



### 人材育成

#### キャリア開発とトレーニングプログラム

従業員のキャリア開発をサポートするために、トレーニングプログラムを整備しています。プログラムはOJT、講義、セミナーなどさまざまで、一般職から管理職まで全従業員を対象に行われます。各担当業務の習熟度に合わせて内容が分けられているため、無理なくステップアップしていくことが



講義風景

可能です。

業務に必要な専門知識や法令遵守に関する知識は、外部専門家および資格や経験を有する従業員を講師とした講義やセミナーで学ぶことができます。2010年度は労働省の職員を講師として招き、安全委員会のマネージャーや安全指導員などを対象としたセミナー「安全に関する最新の法律と法令遵守のための行動」を開催しました。



工場従業員向けトレーニング

## 2 地域社会との共生

地域やコミュニティとの共生を目指して、社会貢献や地域コミュニケーションなどさまざまな活動に取り組んでいます。学生の就業支援や工場見学の受け入れも行っており、雇用の促進による社会の活性化にも貢献しています。

### ■ 僧侶にお布施や食料を寄付

2010年12月に近隣の寺院より僧侶を招き、お布施、お米などの食料、薬、その他生活必需品を寄付しました。この寺院では200人以上の貧しい子供や孤児を引き取っており、彼らにも食料や生活品が行き渡りました。

仏教国であるタイでは、善の象徴である僧侶にお布施を行うことは大変良い行いとされています。また、お布施を受けた僧侶がお祈りを捧げてくれることで、幸福や繁栄が訪れると信じられており、施しを行う側にとってもありがたい行為となっています。

カシオタイの従業員は、お布施の機会を嬉しく思っており、慈善活動であると同時に、現地の文化を重んじ、従業員に心の平安を保証する活動としても大きな意義があります。



僧侶らにお布施や食料を寄付



### ■ 学生の就業を支援

学生や先生方を対象に、事業説明や工場見学などに招いて企業活動を学んでもらう機会の提供を通じて、学生の就業支援に取り組んでいます。タイでは長引く国内紛争の影響で、学生が民間企業での研修を受けられる機会が少なくなっています。学生たちに研修機会を提供することで、タイの次世代育成に貢献しています。また、こうした姿勢がタイの教育省に認められ、2009年には「Good Support and give learning chance

to vocational student of southern province」を受賞しています。これは、タイ南部の学生に、バンコク近郊企業での研修活動の機会を与える活動をサポートする企業に贈られるものです。



研修を受講した学生たち

### ■ 洪水被害者への支援

タイでは、2010年10月中旬から11月中旬にかけて、広い範囲で洪水が発生し、大きな被害が出ました。幸いカシオタイは洪水による被害を受けませんでしたが、従業員の中には自宅が洪水被害にあった者がおり、また周辺地域も被害を受けました。

そこで、カシオタイでは救援活動資金を寄付するとともに、洪水被害者への現金または物資の寄付を従業員に呼びかけました。従業員と会社からの寄付金と、食料やろうそくなどの生活物資は、被

害地域の知事に届けられ、被害者への救援に使われるようお願いしました。救援物資の配布にはカシオタイの従業員も参加し、被害にあった地域住民に直接支援物資を手渡しました。



被災者への支援